

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kid's Tech 蒲田		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 24日		～ 2025年 10月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2025年 9月 24日		～ 2025年 10月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	特性に応じたIT(プログラミング)療育	児童のニーズや発達段階に応じ、将来に向けたパソコンのスキル向上を目指している。スキルを身につけ「できた」から「できる!」の自信へ繋がるような支援を行っている。得意なものを見つけ伸ばしていけるようなカリキュラムを提供している。	提供内容については、ゲーム性のあるものを使用し、楽しんで活動をしているうちに身につけてもらえるような工夫をしている。また、特性に応じた取り組み方法をスタッフで検討しながら、スモールステップで取り組めるように促している。
2	小集団でのコミュニケーション活動	1人1台のパソコンを使用できる環境を整えているが、敢えてパソコンを使用しない時間を作り、コミュニケーションスキルの向上を目標に、シンプルなアナログのルールゲームなどを通して、社会性やコミュニケーション能力の向上を図る時間を設けている。	SSTでは、日常の困りごとなどをテーマにし、ゲームやクイズ形式にして自分だったらどうするか考えてもらいながら取り組んでいただいている。コミュニケーションでは、まずはスタッフとの会話のキャッチボール、また他児との交流を仲介し、ゲームや会話することが楽しめるように工夫している。
3	児童が楽しく安心して通える環境作り。わかりにくいものや曖昧なものは避け、わかりやすく視覚化重視のレイアウト	教室内の掲示物や説明をするものなどは、曖昧な表現をせず、視覚化しわかりやすい表現をするように工夫している。また余計なものは提示しないようにし、集中力を高められるような環境を作っている。	見通しをつけられるように最初に流れの説明を行い、何をしたらいいかと不安にならないよう、スタッフが細かな声掛けを行い取り組んでいただいている。また、切り替えなどが難しい場合もあるため、切り替えやすいよう時間を視覚化した声掛けを行ったりしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校などの他機関との連携	必要に応じて行うが、その他日常的には、積極的に連絡を行うことはしていない。	児童の情報共有など、より一層連携を図る努力が必要。また、児童を取り巻く社会資源との連携を図っていきたい。
2			
3			